

## 平成22年12月期 第1四半期決算短信

平成22年4月28日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 ソルクシーズ

コード番号 4284 URL <http://www.solxyz.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 長尾 章

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部副本部長

(氏名) 秋吉 邦彦

TEL 03-6722-5011

四半期報告書提出予定日 平成22年5月14日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年12月期第1四半期の連結業績(平成22年1月1日～平成22年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第1四半期	2,336	0.8	35	—	40	—	△27	—
21年12月期第1四半期	2,317	—	△16	—	△41	—	△138	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年12月期第1四半期	△2.22	—
21年12月期第1四半期	△11.22	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年12月期第1四半期	6,495	2,878	44.1	232.86
21年12月期	6,391	2,906	45.3	235.13

(参考) 自己資本 22年12月期第1四半期 2,864百万円 21年12月期 2,892百万円

### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年12月期	—	—	—	—	—
22年12月期	—	—	—	—	—
22年12月期(予想)	—	2.50	—	2.50	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成22年12月期の連結業績予想(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	4,500	△3.0	10	△64.8	10	—	△60	—	△4.88
通期	9,650	4.3	280	371.7	280	—	90	—	7.32

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 ー社 (社名 ) 除外 ー社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他 をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他 をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年12月期第1四半期 13,410,297株 21年12月期 13,410,297株

② 期末自己株式数 22年12月期第1四半期 1,109,197株 21年12月期 1,109,089株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年12月期第1四半期 12,301,173株 21年12月期第1四半期 12,387,155株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当連結会計期間におけるわが国経済は、一昨年の金融危機に伴う景気低迷から緩やかな回復基調にあるものの、まだまだ厳しい状況が続いております。当社グループが属する国内IT市場においても、顧客企業におけるIT投資は一部で増加の兆しが見られるものの、全体として低い水準で推移しております。

このような状況下、当社グループの第1四半期(1月～3月)の連結売上高は、本体におけるソフトウェア開発事業の売上減等があったものの、連結子会社における売上増加等により、前年同期比0.8%増の2,336百万円となりました。

損益面では、連結売上総利益は本体ソフトウェア開発事業の減収に伴い当該事業の粗利が減少した結果、同6.8%減の433百万円となりました。しかし、事務所経費などの経費節減や前連結会計年度に減損処理したことによる子会社ののれん償却負担の減少等により、販売費及び一般管理費が同17.3%減の398百万円となった結果、連結営業利益は同51百万円増の35百万円となり、連結経常利益は同82百万円増の40百万円、税引後の連結純損失は27百万円(前年同期は138百万円の純損失)と、それぞれ大きく改善いたしました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当連結会計期間末の当社グループ連結総資産は、現預金、投資有価証券等の増加により、前連結会計年度末比1.6%増の6,495百万円となりました。

負債は、季節要因により賞与引当金等が増加し、前連結会計年度末比3.8%増の3,616百万円となりました。

純資産は、損失計上に伴い、前連結会計年度末に比べて1.0%減の2,878百万円となりました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

上述のとおり、厳しい経営環境が続いておりますが、徐々に景気は明るさを増しつつあります。当社の主要マーケットである金融業界においても、企業統合関連や法改正対応などにより、IT投資は回復していくものとみており、平成22年1月29日に発表しております平成22年12月期の連結業績予想に変更はございません。

### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

四半期会計期間中に著しい貸倒実績が発生しない限り、前連結会計年度末に算定した貸倒実績率を使用しております。

②たな卸資産の实地棚卸の省略

实地棚卸は行っておりません。

③連結会社相互間の債権債務の相殺における差異調整の省略と未実現損益の消去における見積計算

重要性があれば、差異調整することとしております。

④繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等や一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合は、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

受注制作に係る収益の計上基準については、従来、完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号平成19年12月27日)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第18号平成19年12月27日)を当第1四半期連結会計期間より適用し、当第1四半期連結会計期間に着手した受注契約から、当第1四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる契約については工事進行基準(工事の進捗率の見積りは原価比例法)を、その他の契約については完成基準を適用しております。

なお、これによる当四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,674,756	1,483,617
受取手形及び売掛金	1,534,439	1,752,003
有価証券	280,029	279,978
商品及び製品	17,029	16,219
仕掛品	176,549	109,663
原材料及び貯蔵品	3,227	3,331
その他	133,840	141,506
流動資産合計	3,819,874	3,786,320
固定資産		
有形固定資産		
有形固定資産合計	669,454	678,559
無形固定資産		
のれん	36,696	17,185
その他	140,079	142,517
無形固定資産合計	176,775	159,702
投資その他の資産		
投資有価証券	1,097,038	1,012,998
繰延税金資産	343,096	333,864
その他	388,624	431,310
貸倒引当金	△12,270	△12,270
投資その他の資産合計	1,816,488	1,765,902
固定資産合計	2,662,718	2,604,165
繰延資産	12,741	1,174
資産合計	6,495,334	6,391,660
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	484,838	493,260
短期借入金	619,800	692,600
1年内償還予定の社債	70,000	240,000
1年内返済予定の長期借入金	271,000	295,673
未払法人税等	66,910	24,304
賞与引当金	164,171	—
役員賞与引当金	250	—
その他	403,472	511,341
流動負債合計	2,080,442	2,257,181
固定負債		
社債	420,000	70,000
長期借入金	193,000	257,810

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
退職給付引当金	796,912	772,873
役員退職慰労引当金	115,515	114,474
負ののれん	848	1,018
その他	9,859	11,304
固定負債合計	1,536,135	1,227,482
負債合計	3,616,578	3,484,663
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,494,500	1,494,500
資本剰余金	1,453,942	1,453,942
利益剰余金	331,109	358,450
自己株式	△420,060	△420,018
株主資本合計	2,859,491	2,886,874
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,885	5,482
評価・換算差額等合計	4,885	5,482
少数株主持分	14,379	14,639
純資産合計	2,878,755	2,906,997
負債純資産合計	6,495,334	6,391,660

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)
売上高	2,317,326	2,336,878
売上原価	1,851,674	1,902,931
売上総利益	465,651	433,946
販売費及び一般管理費		
役員報酬	72,660	78,042
給料	112,830	112,235
役員賞与引当金繰入額	9,000	250
賞与引当金繰入額	23,707	21,183
役員退職慰労引当金繰入額	4,170	4,341
退職給付費用	5,596	5,603
法定福利費	23,602	21,088
地代家賃	28,544	25,083
支払手数料	16,528	36,043
のれん償却額	57,273	1,739
その他	128,138	92,832
販売費及び一般管理費合計	482,052	398,444
営業利益又は営業損失(△)	△16,400	35,501
営業外収益		
受取利息	5,597	2,745
デリバティブ評価益	—	11,800
負ののれん償却額	169	169
その他	5,274	2,411
営業外収益合計	11,040	17,126
営業外費用		
支払利息	6,355	5,103
デリバティブ評価損	27,539	—
投資事業組合運用損	—	5,739
その他	2,257	1,039
営業外費用合計	36,151	11,882
経常利益又は経常損失(△)	△41,511	40,745
特別損失		
固定資産除却損	—	915
減損損失	—	108
役員退職慰労引当金繰入額	40,416	—
ゴルフ会員権評価損	5,677	—
投資有価証券評価損	425	7,534
特別損失合計	46,519	8,559
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△88,031	32,185
法人税、住民税及び事業税	29,656	63,714
法人税等調整額	23,261	△4,490

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)
法人税等合計	52,918	59,223
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△2,021	302
四半期純損失(△)	△138,927	△27,340

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△88,031	32,185
減価償却費	29,470	31,842
減損損失	—	108
のれん償却額	57,273	1,739
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△10,662	1,041
退職給付引当金の増減額(△は減少)	8,680	24,038
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	9,000	250
賞与引当金の増減額(△は減少)	158,663	164,171
受取利息及び受取配当金	△5,597	△2,745
支払利息	6,355	5,103
デリバティブ評価損益(△は益)	27,539	△11,800
投資事業組合運用損益(△は益)	—	5,739
投資有価証券評価損益(△は益)	425	7,534
ゴルフ会員権評価損	5,677	—
固定資産除却損	—	915
売上債権の増減額(△は増加)	507,640	217,564
たな卸資産の増減額(△は増加)	△89,428	△67,592
仕入債務の増減額(△は減少)	△284,159	△8,180
未払消費税等の増減額(△は減少)	△8,440	21,216
その他	△250,157	△137,843
小計	74,248	285,291
利息及び配当金の受取額	10,302	8,542
利息の支払額	△6,146	△4,712
法人税等の支払額	△236,424	△11,509
営業活動によるキャッシュ・フロー	△158,020	277,611
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額(△は増加)	△4,728	6,037
有形固定資産の取得による支出	△4,824	△1,496
無形固定資産の取得による支出	△3,550	△38,942
有形固定資産の売却による収入	—	328
投資有価証券の取得による支出	△25,647	△86,658
社債等の償還による収入	—	40,000
貸付けによる支出	△24,118	—
貸付金の回収による収入	20,000	2,100
その他	△6,001	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△48,870	△78,631

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△52,300	△72,800
長期借入れによる収入	100,000	—
長期借入金の返済による支出	△73,270	△89,484
社債の発行による収入	100,000	387,745
社債の償還による支出	△10,000	△220,000
自己株式の取得による支出	△42	△42
配当金の支払額	△52,599	△171
少数株主への配当金の支払額	—	△563
その他	—	△6,362
財務活動によるキャッシュ・フロー	11,787	△1,677
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△195,103	197,302
現金及び現金同等物の期首残高	1,900,880	1,705,901
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,705,777	1,903,203

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第1四半期連結累計期間（平成22年1月1日～3月31日）

当連結グループは、ソフトウェア開発及びその他の事業を事業の内容としております。ソフトウェア開発事業は、ソフトウェアの開発、およびそれに付随する情報機器販売、保守作業等を行っております。その他の事業は、映像・音響、セキュリティ関連事業等を行っております。このうち、ソフトウェア開発事業の売上高、営業利益の金額は、全セグメントの売上高、営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

当第1四半期連結累計期間（平成22年1月1日～3月31日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

当第1四半期連結累計期間（平成22年1月1日～3月31日）

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。